

第3回 核データ・グループ会合議事録

日時 昭和41年8月24日(水) 13時~17時30分
場所 原研東京本部第1会議室
出席者 神田, 村田, 更田, 若林, 森口, 中島(豊), 田中, 中島(竜),
五十嵐, 西村, 井出野, 岡本, 立花, 菊池(康), 八谷, 浅見(哲)

議事

1 前回議事録確認

○「341年度計算実行計画」の補足(五十嵐)

ELIESE 関係で production として IBM に 50 万円の契約。炉定数グループに計算費 30 万円を貸した。来年度に返してもらおう。

○外国で作ったコードで我々が使えるものを集めて利用することを考えたい。計算センターとも連絡を取って行ないたい。

○(4)に関して(中島(竜))

複写費の件については運営委には出さなかつた。当グループの態度がはっきりしてから出したい。

2 組織変更について(中島(竜))

運営委の幹事について変更のあつたこと、組織変更の意味について説明があつた。

グループ幹事については、とくに設ける必要のないとの意見が多く、幹事の代りに、サブ・グループの責任者を明確にしておくことになつた。

計算関係

八谷, 五十嵐

computer index

田中

resonance parameter

五十嵐

request list (炉定数グループとの関連も含んで) 五十嵐

3 リクエスト・リスト作成上の問題点, やり方, それに関連して炉定数グループとの共同作業について討論が行われた。その結果, 炉定数グループとの joint sub-group 活動を推進させる必要があるとの結論に達し, その世話役の立花, 五十嵐, 岩城の諸氏に joint sub-group の進め方について検討してもらうことになった。

4 共鳴パラメータ index について (更田)

key words のアンケートとともに郵送したことおよび内容の説明があつた。

5 データ・シートの作成と key words について (田中)

新しいデータ・シート案について説明があつた後, 討論を行ない修正を行なつた。それ以上, とくに問題がなければ, 9月15日頃に発注することにし, 枚数, 紙質などは関係者に一任することになった。

次回は9月29日(木)の予定。